

志染地区市政懇談会 議事録

- 1 日 時 令和6年11月21日(木)
午後7時30分～午後9時00分
- 2 場 所 志染町公民館 大会議室
- 3 参加者 志染地区 15人
市 20人(市長、副市長、副市長、教育長、総合政策部長、総務部長、市民生活部長、健康福祉部長、産業振興部長、都市整備部長、上下水道部長、議会事務局長、消防長、教育総務部長、教育振興部長、企画政策課長、市民協働課長、人権推進課長、農業振興課長、農地整備課長)
オブザーバー 5人
傍聴者 5人

4 内 容

(1) 地区からの意見・提言及び市からの回答
別紙のとおり

(2) 意見交換

ア 女性活躍社会に向けて

【志染地区】

住宅地や街中の自治会と違い、農村地区である志染では、農業は男性主体であり、そのため自治会役員も男性となり女性は選出されない。回答には「自治会において女性役員を選出していただきたい」とあるが、なかなか当地区においては難しいと考える。市からも女性が自治会の役員になるよう働きかけをしていただきたい。

【市民生活部長】

自治会役員に女性が出てこない理由の1つに、自治会規約に「世帯主や戸主を代表者とする」などと記載されていることが考えられる。この規約では、女性がなかなか自治会に世帯を代表して出てくることができない。したがって「世帯の代表者」というような表現に変更するなどし、女性も参加できる規約への変更も必要ではないかと考える。自治会の女性役員の選出を含む女性活躍などについては、市も地元と一緒に考えていきたい。

【志染地区】

地区に長く続く古い習慣を変えることは難しいため、市の方で女性活躍のきっかけを作っていただきたい。回答に、「区長を対象とした研修に、女性活躍をテーマに取り上げた」とあるが、そういった研修を通して、女性の気もちを変えていただきたい。

【市長】

自治会における女性活躍のきっかけづくりについては、担当課において地区と一緒に考えていく。

研修会や講演会等で女性の気もちを変えるという点については、女性の気もちを変えることも大切だが、一番大事なのは、男性の意識を変えていくことであると考えている。

【市民協働課長】

区長向けの研修については、令和6年11月17日に自治会における女性区長、役員の参画をテーマにした研修会を実施し、参加者の感想からも意識の変化がみられた。志染地区においても、こうした研修会の希望があれば市から講師派遣を計画するのでご相談いただきたい。

【志染地区】

男女共同参画センターは市の組織の中でどういう位置付けであるか。女性活躍についての担当であるのか。

【市民生活部長】

男女共同参画センターだけが女性活躍について考えているわけではない。男女共同参画センターを中心に、庁内の部署全てが男女平等、女性活躍のための施策等を検討し、それを男女共同センターが男女共同参画プランとしてまとめている。このプランを基に市全体で女性活躍などの目標に向かって各施策に取り組んでいる。

イ 志染町の活性化について

【志染地区】

三木東インターチェンジの出口が混雑し、渋滞が発生している。吉川方面へ抜ける南北の道路を増やす計画が国や兵庫県にあればその情報を教えていただきたい。

【都市整備部長】

当地区において吉川方面へ抜ける南北に通じる道路としては、県道神戸加東線がある。この道路は、細川地区でT字路（谷口交差点）になっているが、直進して県道加古川三田線に抜ける道路の構想があり、兵庫県も検討しているが、現時点では実現に向けての具体的な話はない。

【市長】

我々が感じる渋滞道路と、兵庫県など道路管理者が対策を講じる渋滞道路とには大きな差がある。我々が渋滞道路だと思った道路も、道路管理者からすれば、渋滞道路に該当していないのでご理解いただきたい。

【志染地区】

三木市は「ゴルフのまち」であるがゴルフショップがないとの声を聞く。ゴルフ場にあるショップは高価なため、市外で購入しているとのことである。志染地区にゴルフショップが入った、複合的な施設を作っていただき、地域の活性化につなげていただきたい。

【市長】

ゴルフショップの出店については、民間の事業所が採算を見込まず、出店していないと考える。

現在、関西国際大学と来年4月に開校予定の県立三木総合高校にゴルフ部設置の検討を進めていると聞いている。実際にゴルフ部が設置となった場合には、三木市内に多くの学生が来ると考える。これらを含め、様々な側面から志染地区の活性化について考えていただきたい。

【志染地区】

三木には、県立三木総合防災公園があり、そこにはE-ディフェンスなどの世界的な防災関連施設がある。それらをまちづくりを活用する動きはないのか。

【産業振興部長】

三木市民でも三木総合防災公園を利用しない人が多い。その現状を踏まえ、今年2月に初めて三木総合防災公園において、クイズラリーを行う防災ツーリズムのイベントを行った。このようなイベントを実施し、地元住民にも来ていただけるよう努めていきたい。

ウ 志染地区の過疎化を止めて

【志染地区】

回答には、「自分たちの地域は、自分たちで守ってほしい」と書かれているが、それが困難であるので意見させていただいた。まず、若い人が転出している原因を改めて考えていただきたい。現在、若い人は、PTAの役員や地区の役員も同時に担わなければならないような状況にあり、若い人にとって住みにくい環境になっている。若い人の負担を軽減し、地元での生活にメリットがあるような施策を検討していただきたい。

【市長】

全国的にも若者の転出、とりわけ東京一極集中が進み、それに対応するため、国が進める地方創生のもと、各自治体で様々な取り組みを行っている。しかしながら、若者は便利で魅力ある街へ転出する。これまでのように長男は家を継ぐというような感覚は、今ではなくなりつつあると考える。市も様々な取り組みを実施しているが、地域にいい案などがあれば、一緒に考えていきたい。

次に、自治会役員の負担軽減については、全戸配布の原則禁止などに取り組んでいる。その他、負担軽減策などがあればご提案いただきたい。また、地区内でできる負担軽減策があれば取り組んでいただきたい。

【志染地区】

志染地区で農業を営むほとんどが兼業農家である。大規模農家に進出していただいても、水の確保は地元でしなければならない。補助が出るのは大規模農家や営農組合を作った方のみで、兼業農家には補助がない上に後継者もいないため、今後農業をしていくことができない。何らかの対策をとってほしい。

【産業振興部長】

後継者がいないという点について、農業の担い手の確保ということだけでなく、農村地域の維持のためにも、担い手が必要であると考えている。まずは自治会役員等の負担を減らすことを含め、地域の担い手確保などについて、市も一緒に考えていきたい。

エ 鳥獣害対策について

【志染地区】

わな免許を持つ市職員は何人か。イノシシの個体数を減らすためにも、積極的に免許を取り、駆除していただきたい。

【産業振興部長】

市職員はほとんどとっていない。しかし、猟友会の尽力により、令和5年度の捕獲数実績は、近隣市町が100頭に満たない中、三木市は331頭と、捕獲数が非常に多いという点をご理解いただきたい。

オ 農地耕作従事者の負担軽減

【志染地区】

今後、農業の担い手が少ない中で、さらに高齢化し、なかでも草刈がかなりの負担となってくる。今回挙げさせていただいた3つの提言を含め、市の考えを教えていただきたい。

【農地整備課長】

全国的に、今後農業者が減少していくなかで、よくいわれるのが農地の集約化の必要性である。個別の農家でやるのではなく、営農組合の組織を強くして地域でまとまりある農業を進めていただきたい。営農組合があれば、今後農業者が減少したとしても、圃場整備ができている状態であれば、「農業のできる村」を守っていける。他の地域からの担い手も望めると考える。ぜひ一度地区でも話し合っていたいただきたい。

【志染地区】

営農組合を立ち上げる、大規模な農地整備をするというのは今後考えないといけないが、法面の草刈りなど、現在、そして近い未来の課題をまずはなんとかしたい。市の対策はあるのか。

【農地整備課長】

法面の草刈りについてだが、法面に最も有効と言われているのはムカデ芝で、多面的機能支払制度で整備可能である。兵庫県とも協力しながら、現地の状況に応じた方法を具体的に提案させていただきたい。